

冬の荒れた日本海に面する磯釣り場で



海中転落事故注意

自分は大丈夫... その油断が命取り



慣れによる不注意！
磯場で海に背を向けるのは非常識！

・ 気象海象の確認

常に最新の気象海象情報入手し、危険を感じたら無理をせず安全な場所へ避難しましょう！

・ 釣り場に適した着装

救命胴衣の着用はもちろんのこと、転倒や海中転落防止のため磯靴など釣り場に適した格好で臨みましょう！

・ 複数人での行動

事故発生時の早期の救助要請や救助活動に繋がります！

・ 連絡手段の確保

防水措置を施している携帯電話などの連絡手段を確保し、何かあった際に、いつでも連絡を取ることができるようにしましょう！

自分の命を守るために必要なこと！

1 釣り場や帰宅時間を家族等に伝えておく！

家族や友人に釣り場や納竿・帰宅の時間を伝えておきましょう。不慮の事故に見舞われた際、異常の認知や捜索の一助になります。

2 連絡手段を確保！

携帯電話は防水パックに入れ、ストラップ等で携行を！万が一落水した際の連絡手段を確保しましょう。

3 救命胴衣の確実な着用！

救命胴衣を常時着用するのは基本中の基本です。落水した場合も、救命胴衣を着用していれば助かる確率が高くなりますので、自分の体格にあったものを選び、ベルトをしっかり締め、確実に着用しましょう。

4 釣り場に適した着装で！

救命胴衣はもちろんのこと、特に磯場は滑りやすく足場も悪いです。転倒や海中転落防止のため磯靴など釣り場に適した格好で臨みましょう。

5 単独行動はやめ複数名で行動！

事故発生時にすばやい救助要請や救助活動のためにも一人での釣行は避け、友人や仲間と一緒に行動しましょう。

6 急な高波に注意！

100回に1度は1.6倍、1000回に一度は2倍の高さの所謂「一発大波」が来るといわれています。波やうねりの状況を注視し、海側に背を向ける、磯場で座り込むなどの行為は避けましょう。

7 こまめに天気情報をチェック！

事前の確認だけでなく、釣行中も気象・海象情報をこまめにチェックすることが大切です。荒天が予想される場合は、釣行の取り止めや早めの帰宅を心がけましょう。

8 もしもの時は118番！

海中転落などの事故発生時や不信な事象を認めた場合は、緊急通報番号「118」番の活用を！